

(お知らせ)

定期検査中の福島第二原子力発電所1号機使用済燃料プール内における
プラスチック片の発見・回収について

平成 17 年 3 月 14 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所1号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)は、平成16年9月29日より第17回定期検査を実施しておりますが、使用済燃料プールにおいて使用済制御棒の移動準備作業中、協力企業作業員が、本日午前11時10分頃、プラスチック片1個(長さ約21cm×幅約5cm×厚さ約0.35cm)を発見し、直ちに回収いたしました。

使用済燃料プール内を調査した結果、当該プールに仮置きしているキャスク底部保護板*が欠けているため、その一部が浮上してきたものと推定いたしました。

また、プール底部に当該保護板の破損した一部らしきものが沈んでいるのを確認しているため、当該保護板を含め、今後回収方法などを検討し、準備が整い次第、回収・清掃作業を実施してまいります。

当該保護板が欠けた原因については調査いたします。

なお、当該保護板の回収およびその周辺のプール底部清掃作業を実施する予定ですが、今後新たにプラスチック片等を確認した場合は、作業終了後まとめてお知らせいたします。

以上

* キャスク底部保護板

キャスク(使用済燃料の輸送用容器)を使用済燃料プールに入れる際、底部を保護するための板。現在は使用していないため使用済燃料プール内にワイヤーで吊し保管してある。

(お問い合わせ先)

福島第二原子力発電所
広報部
TEL 0240-25-1353